

2024年度 第34回 こうさい療育・支援セミナー

【 開 催 要 項 】

1. 弘済学園の紹介と療育・支援セミナーの開催目的

弘済学園は、公益財団法人鉄道弘済会が運営する福祉型障害児入所施設で、未就学児の通所(児童発達支援センター)や18歳以上の方の通所(生活介護・就労継続支援B型)などを併設しています。

本セミナーは、弘済学園開設35周年を記念し、その開催を始め、今回で第34回目を迎えます。これまで多岐にわたる実践的テーマを軸に、参加者と各々の立場からの実践と知見とを分かち合う場として、回を重ねてまいりました。各領域・各分野で期待される将来展望を切り拓く一助になることを願い、本セミナーを開催いたします。

2. テーマと趣旨

「力を引き出す日中活動」

弘済学園の療育・支援の最終ゴールは、「能力内自立」と「円満な人格の形成」です。

「能力内自立」とは、「知的障害や発達障害のある方々が、持っている能力を最大限に発揮して、その人らしく、いきいきとのびのびと育つこと、生きること、豊かな人生を歩むこと」を指します。

そのゴールに向かって、当園では「ご本人ファースト」をモットーとし、さまざまな配慮や工夫を散りばめた療育・支援を展開しています。

今回のセミナーでは、「日中活動」に焦点を当て、「能力内自立」の実現に向けて取り組んでいる実践を報告します。「自分でわかって動ける姿」「自発的に行動できる姿」を引き出し、仲間とともに「できる喜び」や達成感を得ながら、情緒の安定と自信を獲得していくプロセスなどをご紹介します、そのために必要な療育・支援のエッセンスを、ご参加の皆さまと共有できればと思います。

なお、本セミナーの大きな特色のひとつは、実際の支援現場を参観していただく「療育支援公開」にありました。しかし、現状では対面・集合形式の参観はむずかしいと考えています。今回も日常の支援場面を撮影した動画を含めた紹介で、当園の概要を説明させていただきますこと、ご了承ください。

3. 主 催 公益財団法人 鉄道弘済会

4. 日 時 2025年2月28日(金) 10:00～16:00

※ 開催後に、当日参加が困難な方に向けたオンデマンド配信を予定しています。

5. 開催方法 ウェビナーを使用したオンライン開催

6. プログラム

| | |
|---------------|--------|
| 10:00 | 開会の挨拶 |
| 10:10 ～ 11:00 | 施設概要説明 |
| 11:00 ～ 12:00 | 基調講演 |
| 12:00 ～ 13:00 | 休憩 |
| 13:00 ～ 13:50 | 実践報告① |
| 14:00 ～ 14:50 | 実践報告② |
| 15:00 ～ 15:50 | 実践報告③ |
| 15:50 | 閉会の挨拶 |

施設概要説明

10:10～11:00

「療育・支援の紹介 ～人生を豊かにするための療育・支援～」

福祉研究員 大倉由寛

弘済学園では、ご本人への療育・支援とともに、ご家族への支援も大切にしています。ご本人の成長と支える側の環境の整えは、地域社会で息苦しさを感じていたご本人にとって、再び社会参加を図るきっかけとなります。当園の療育・支援の仕組みをご紹介します、そのエッセンスを皆さまと共有できればと思います。

基調講演

11:00～12:00

「理念の継承とこれからの課題」

副園長 池田光伸

近江学園、糸賀一雄先生の協力により昭和28年に開設した弘済学園は今年、創立72年を迎えます。

その黎明期に中村健二元園長を中心に作り上げた弘済学園の「理念」を、一貫して継承してきました。この弘済学園の「あゆみ」を冒頭でご紹介します。その後、この「あゆみ」に続く、今、そしてこれからの課題をまとめてみたいと思います。特に現在利用されている多くの重度・最重度の方の課題や、今回のセミナーのテーマである「力を引き出す日中活動」についても触れたいと思います。

「日中活動で得た安心感や楽しさをその先の自信につなぐ」

療育支援課 係長 瀬古真紀
療育支援課 福祉指導員 味埜美穂

3歳で当園に入所することになった、重度知的障害と自閉スペクトラム症のあるAさん。入所前、ご家庭では一日中動きまわり、毎日、理由のわからない泣きや自傷が2時間ほど見られていました。睡眠は、4時間眠り3時間起きて、疲れたらまた眠るといった繰り返しでした。ご家族は、この状況に苦慮されていました。

当園に入所されたAさんが、毎日の日中活動に参加し、職員とのかかわりやプログラムを通して、安心感や楽しさを得て、心身ともに変化、成長を見せている2年半の経過を報告します。さらに、この事例を通して、どのように子どもたちの「できた！」「やりたい！」を広げていくべきか、考えます。

「児童期における運動プログラムの意義」

療育支援課 係長 仙波武史
療育支援課 福祉指導員 宮村愛美
療育支援課 福祉指導員 申田真也

弘済学園の日中活動では、全11クラスそれぞれが毎日30分、「体育」として運動プログラムを実施しています。運動プログラムは、体力や運動機能の向上とともに、自信や意欲、対人関係の育みを狙いとしています。利用者の障害特性は多様であり、また、運動が得意な方、苦手な方、動き方のイメージができる方、そうでない方などさまざまです。わかりやすいプログラムの構成と個々に応じたアプローチのあり方を踏まえ、将来、生きる力となる運動機能の獲得や維持、社会性の広がりなど、円満な人格形成につながるための「運動療育」の意義について検討します。

「青年期の日中活動を充実させるために**～就労継続支援B型事業所で導入した新たな取り組みの検証～**

地域生活支援課 係長 河野興承

弘済学園デイケアセンターは就労継続支援と生活介護の多機能型事業所で、青年期にある方々が多く利用しています。以前から園芸作業を提供してきましたが、利用者への工賃が上がらないことが課題でした。

利用者の生活の質の向上に向けた新たな取り組みとして「ハーブプロジェクト」を立ち上げ、3年が経過しました。取り組みの経緯や、利用者の力を引き出しながら新作業種へ導入するための支援など、さまざまな角度から、これまでの実践を整理し、報告します。

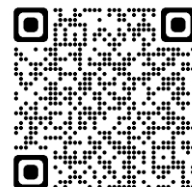
質問受付

当日、Zoom ウェビナー画面より質問を受け付けます。

※ 全ての質問にはお答えすることができません。あらかじめご承知おきください。

7. 申込方法

鉄道弘済会ホームページ(https://www.kousaikai.or.jp/school/information/info_message/seminar/)、もしくはQRコードよりお申し込みください。オンデマンド配信ご希望の方も、申し込みフォームよりお申し込みください。



8. 個人情報の取扱いについて

受講のお申し込みの際してお預かりする個人情報は、次回以降のセミナー開催案内など、本セミナーに関する内容のみに使用いたします。

9. 注意事項ほか

受講に必要な機材(PC、スマートフォン、タブレットなど)とインターネット環境をご用意ください。

- ※ 動画配信形式のため、多くの通信料がかかります(視聴に伴う通信料などは受講者負担になります)。
- ※ 通信環境によっては、動画の乱れが生じる場合があります。
- ※ インターネット接続に関する不具合やお問い合わせなどには、対応できかねます。

お申し込み時に、Zoom 社より受講時に使用する URL が送信されます。

メールアドレスの記入ミスなどにご注意下さい。

本法人の許可なく、資料の一部およびすべてを複製、転載、または配布、印刷などし、第三者の利益に供することを禁止いたします。また、配信画面の録画、録音および撮影などは固くお断りいたします。

【お問い合わせ先】

公益財団法人鉄道弘済会 社会福祉第二部

こうさい療育・支援セミナー担当

TEL : 03-6261-3199

E-mail: ryoikuseminar@kousaikai.or.jp

